

都学歯広報

T O G A K U S H I + K O H O

120
2017.11

平成28年度
「歯・口の健康に関する図画・
ポスターコンクール」優秀作品
小学校高学年の部

江戸川区立第二葛西小学校
砂澤あゆみさん

CONTENTS

- インタビュー 役員人物探訪 2
長沼善美副会長／澤田章司専務理事
- 地区学校歯科医会からのメッセージ 4
玉川学校歯科医会／本所学校歯科医会
- 第9回学校歯科保健アジア会議 6
- 第81回全国学校歯科保健研究大会 7
- 地区ニュース 8～9
練馬／豊島／板橋／足立
- トピックス 9～11
平成29年度第1回参事会／平成29年度健康づくり
フォーラム／作文審査会／平成29年度「歯・口の健
康に関する図画・ポスターコンクール」審査会／平
成29年度城東地区学校歯科医連合会役員連絡協議会
／平成29年度ブロック別学校歯科医研修会
- 第52回東京都学校歯科保健研究大会・予告 12
- 訃報 12



長沼善美 副会長



- ・ 出身は？
東京都大田区出身です。
- ・ 何人兄弟でいらっしゃいますか？
2人兄弟の弟です。
- ・ 子供のころはどのようなお子さんでしたか？
活発な子供でした。
- ・ 子供のころは何になりたかったですか？
野球選手になりたかったです。
- ・ ご自身の性格はどのように思われますか？
いたってまじめです。
- ・ ご家族は何人でどのような構成ですか？
妻と娘1人と犬1匹と同居しています。息子は結婚して世帯を別にしています。
- ・ ストレス発散のためにすることなどありますか？
何かあればよいのですが…何もないのでストレスがたまります。犬と暮らし始めました。犬種はチワプーです。
- ・ 座右の銘は何かありますか？
「千里の道も一歩から」です。

・ 学生時代に何かクラブに所属されていましたか？

硬式テニス部で、現在OB会会長をしています。

・ 学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

テニスに夢中でしたので、テニス部のことです。内容はいろいろです。

・ 学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？

父の代より都立王子特別支援学校を担当して、私としましては、20年になります。特別支援学校の個別の対応に苦慮しながら、学校歯科保健活動に取り組んでいます。

・ 学校歯科医をしていて、うれしかったこと、楽しかったことなどありますか？

担当している学校の子供の日常生活における成長がみられることです。

・ 副会長として、都学歯を見て、感じたこと、思うところをお聞かせください。

役員が活発にまじめに活動していることです。今まで東京都学校歯科医会（都学歯）を会計担当として内務的にみていましたが、今後は副会長として外務的な判断が必要になると思います。

・ 都学歯にかかわらず、これから学校歯科医会として、やっていかなければならないことや、今後の課題などありますか？

これから公益法人に移行していくことが急務ですが、5年後10年後の学校歯科保健活動や学校歯科医会を考えていくことだと思います。

澤田章司 専務理事



・ご出身は？

東京は西のはずれ西多摩の“あきる野市”です。市ヶ谷から約2時間の場所です。

・何人兄弟ですか？

妹と弟の3人兄弟です。弟は矯正専門医です。

・子供の頃はどんなお子さんでしたか？

至ってまじめな子供でした。

・子供の頃は何になりたかったですか？

両親が歯科医院の仕事で遅くなることが多かったので、兄弟のご飯を作ったりしていた関係で料理人（コックさん）になりたかったです。

・ご自身の性格はどのように思われますか？

几帳面な性格だと思います。

・ご家族は何人でどのような構成ですか。

母、妻、娘と私の4人と、ジャーマン・シェパード犬3頭です。

現在は、歯科医の娘と2人で診療しています。

・趣味はなんですか？

昔はスキーで、今はガーデニングやコラムを書くことです。

・ストレス発散のためにすることなどありますか？

草花を植えたり樹木の剪定をしたりして、植物と触れることで気持ちを和らげるようにしています。

・座右の銘は何かありますか？

「継続は力なり」と「和を以て貴しとなす」です。

・学生時代に何かクラブに所属されていませんか？

中学からスキー、大学はテニス部でした。

・学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

今にして思えば、後輩の島村大参議院議員と中学・高校の6年間、スキー合宿で和気あいあいと楽しんだり競い合ったことです。

・学校歯科医はいつ頃から、どのような学校を担当されていますか？

平成7年、あきる野市立前田小学校に委嘱されました。本校はベビーブームの時代に、田んぼを埋め立てて造られた学校です。この地は“字”を前田といい、縄文石器が発掘されるくらい湧水が豊富で生活環境の豊かな土地でした。

・学校歯科医としてうれしかったこと楽しかったことなどがありますか？

食育と環境教育の一環で“米作り”の体験学習を指導しているが、毎年子供たちと楽しみながら苗作り～田植え～管理～稲刈り～餅つきをしています。

・専務理事として、都学歯を見て感じたこと、思うことがあればお聞かせ下さい。

長い歴史の中、先達の先生方が築き上げてきた非常に意義あるこの組織を維持継続して行かなければならないと感じています。子供たちへの歯科保健活動の充実のために、さらなる飛躍ができるよう努めたいと思っています。

・都学歯にかかわらず、これから学校歯科医会として、やっていかなければならないことや、今後の課題などがありますか？

最近、学校歯科健康診断などでの不祥事のニュースが目につきます。このようなことが起こらないよう、学校歯科医が同じ知識を持ち、文部科学省からの通達などの情報を共有できるようにしていかなければなりません。そのためには未入会の先生方にご理解いただけるような対策を講じ、組織率を上げていかなければならないと感じています。全ては子供たちの健康増進のためです。

地区学校歯科医会からのメッセージ

玉川学校歯科医会

会長 渡邊 嗣

本会の源流は、終戦後当時の世田谷区役所玉川支所教育委員会文化係長の音頭取りで玉川地区管内に玉川学校医歯薬会が設立されたことに始まります。この会は医師、歯科医師、薬剤師の学校要員の結合体で、親睦に主体をおいた連合体であったと聞いています。しかし、数年後世田谷区役所の機構改革に伴い自然消滅してしまいました。

1969年（S44）になり学校歯科医会の結成を必要として同年11月22日に「東京都世田谷区玉川学校歯科医会」として新組織を創立しました。創立当初の会員数は幼稚園が3園（区立幼稚園2園・都立ろう学校分校1校）、区立小学校が16校、区立中学校が8校、都立高等学校（任意加入）5校、私立学校が2校の合わせて34名でした。

世田谷区では、2003年（H15）に学校歯科医定年制が施行されました。

2011年（H23）には会則を一部改めて本会名称を「東京都世田谷区玉川学校歯科医会」から「玉川学校歯科医会」に改称し現在に至っています。

また会員数は、区立幼稚園2園、区立小学校16校、区立中学校8校、都立高等学校5校、私立学校2校の33名からなっています。

ただし、私立学校に関しましては任意加入であ



り、会費の徴収は行なっていません。逆に都立高等学校は以前任意加入でしたが今では原則加入（原則といっても選任し推薦する際に地区学校歯科医会、東京都学校歯科医会、日本学校歯科医会への入会を条件としています）となっています。

本会の活動といたしましては、年度末（3月）に年1回の総会と年2回の研修会あるいは講演会（7月・2月）を開催しております。

小中学校歯科健康診断では、春に行われます定期健康診断を踏まえて、秋に臨時歯科健康診断を行っております。

今後は学校や保護者とだけではなく東京都学校歯科医会、地区歯科医師会、行政等と緊密に連携を図りながら児童、生徒の口腔の健康だけでなく学校歯科保健活動を会としても今まで以上に推進していく所存です。

本所学校歯科医会

会長 丸山満博

本所で名所、旧跡めぐり

墨田区は東に荒川、西に隅田川に挟まれた三角州の北側にある、いわゆる海拔0メートル地帯の一部で、北が向島地区、南が本所地区と呼ばれています。0メートル地帯であるがゆえに過去には大きな水害を経験し、また関東大震災や東京大空襲でも多くの犠牲者をだした経験から、防災に関する意識が高く、近年では墨田区の医療関係者を中心にしたトリアージ講習会も年に数回行なわれています。

本所学校歯科医会の紹介と言えば「良い歯の日」発祥の地であることを語らない訳にはいきません。大正14年、本所歯科医師会が口腔衛生の啓蒙のために区内学童の口腔検診を日本で最初に実施し、「優良歯牙所持者表彰」を行なったとの記録があり、それは世界的にも前例のない画期的なものであったと当時の新聞にも紹介されたようです。これがきっかけで昭和3年から6月4日が「むし歯予防デー」と制定され、戦時中の中断を経て昭和33年には「歯の衛生週間」として復活、そして現在は「歯と口の健康週間」と時代によりその名称を変えながら継続されています。この功績を後世に引き継ぐために、昭和43年に「良い歯の日」発祥記念碑が墨田区立両国中学校脇に建立されたとのことです。

また、本所歯科医師会も歴史が古く、明治43年8月の東京大洪水の際の歯科的救護にあたる際、歯科医師個々での活動に限界があるために、急遽「本所歯科医師会」を結成したと記録されており、この年から換算すると今年は創立107年目という事になります。

本所には名所、旧跡が数多くあります。良い歯の日記念碑をみて右隣には大江戸博物館、その隣に両国国技館、左に100メートル程の所には震災記念堂があります。他にも鼠小僧の墓、吉良邸、葛飾北斎生誕の地、勝海舟生誕の地、芥川龍之介生育の地、長谷川平蔵・遠山金四郎屋敷跡等が点在しておりますが、シメは今や東京のシンボルタワーとなったスカイツリーでしょうか。スカイツリーが誕生してからは、墨田区の雰囲気もがらりと変わりました。浅草（下町言葉で言うところの川向こう）からスカイツリーへは定番の散策コースになっており大勢の外国人観光客も見かけるよ



良い歯の記念碑を正面に右手には大江戸博物館、左手には震災記念堂を望むことができる

うになりました。同時に墨田の下町職人が脚光を浴びてきていることも喜ばしい出来事であります。

新旧の名所、旧跡を巡りながら粋な下町散歩なんぞしてみてもいかがでしょうか。

さて、本所学校歯科医会ですが。現在の会員数は24名で小学校校医12名、中学校校医6名、高校校医3名、幼稚園園医3名です。主な活動は年に数回の理事会と学術講演会で、ここ数年は向島学校歯科医会と合同開催の形をとっております。

過去5年間の学術講演会の内容は以下の通りです。

- ・学校歯科医が行なう児童生徒への教育
- ・学校歯科医の現状と今後
- ・学童期の外傷
- ・学校保健活動、COとCの判定基準について
- ・歯の交換期における外傷への対応

5年間の間に外傷に関する講演が2回ありました。外傷は症例としては少ないものの、ほとんどの場合突発的に発生し、診療中のタイトな時間を割いて対応する必要があるため、講演会による疑似体験はとても重要であると考えています。また現場での初期対応によって治療後の予後が大きく左右されることから、学校歯科医のみならず歯科医師会会員、養護教諭、教育委員会にも通知をいたしました。とりわけ養護教諭の方にはたいへん好評でした。

伝統ある本所の先輩方の意思を受け継ぎながら、よりよい学校歯科活動に向けて努力を続けております。今後も諸先生方からのご指導、よろしく願いいたします。

第9回学校歯科保健アジア会議 (The 9th Asian Conference of Oral Health Promotion for School Children)

第9回学校歯科保健アジア会議は平成29年9月22・23日にアンコール遺跡で有名なカンボジアのシェムリアップで開催されました。

会議のテーマは、

- ◎子供の初期う蝕について国際的視点とアジア地域の視点
- ◎プレスクールの子供たちのう蝕に対する処理とエビデンスベースドプログラム
- ◎子供の初期う蝕に対する新しい材料や考え方
- ◎子供の初期う蝕に対して歯科関連職種や関連専門職種の役割について活発な意見交換が行われました。

日本からは、9月21日より5日間の日程で約50名（東京都学校歯科医会からは20名を超える参加者）の先生方が参加されました。

初日はWHOのテクニカルオフィサー、牧野由佳先生の一般講演 Global perspectives against Early Childhood Caries (ECC)（国際的な視点から見た早期小児う蝕対策）、二日目は昭和大学歯学部小児歯科学客員教授、井上美津子先生の一般講演 Our Strategies by Oral Health Care

and Food Education (Shokuiku) to Promote Oral Health for Preschool Children in Japan（口腔保健教育と食育による就学前児童の健康意識増進の試み）を発表されました。

Country Reportでは、日本学校歯科医会の川本会長が、日本の学校歯科保健活動について発表されました。ポスターコンペには、日本より3題の参加、その他、一般公演とポスターに複数題参加されました。参加国もアジアのみならず、米国、オーストラリア、ニュージーランドなどの予防歯科の先進国も一般講演で発表されるなど、アジア会議を盛り上げました。

二日目の午後は、シェムリアップの小学校を訪問しました。雨期の時期で、雨の中、たくさんの児童が集まってくださりました。日本学校歯科医会の先生方が歯ブラシ指導をされ、地元の児童たちと楽しいひと時を過ごしました。

今回は、世界遺産のアンコール遺跡の近郊で行われましたが、2年後はマレーシアの世界遺産のジョージタウンを有するペナン島で行われる予定です。（矢野 章）



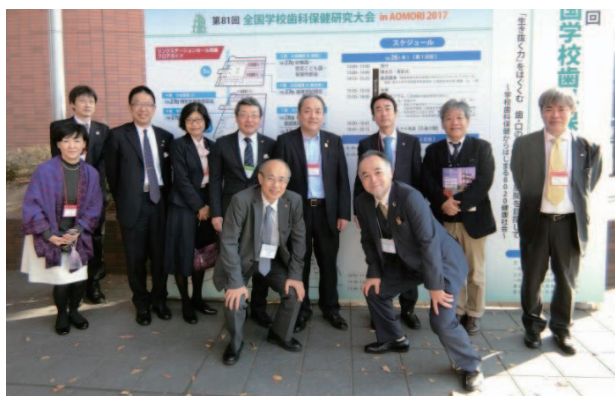


第81回全国学校歯科保健研究大会

第81回全国学校歯科保健研究大会は、平成29年10月26日（木）、27日（金）青森県リンクステーションホール青森において「『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して」を主題に、「学校歯科保健からはじまる8020健康社会」を副題として、学校歯科保健の中での早期健康教育から子供たちの健康を守り、ひいては地域住民の健康を守ることを目指して開催された。開催にあたっては青森県山田高等学校吹奏楽部によるオープニングアトラクションとして曲目演奏による歓迎がなされた。

＜開会式・表彰式＞

開会式では、開会宣言が青森県歯科医師会山口勝弘副会長の辞で開始、代表者挨拶では日本学校歯科医会川本 強会長より挨拶があった。表彰式に移り、川本 強会長より前回開催地代表の東京都学校歯科医会末高英世会長に対し、感謝状が贈呈された。引き続き第56回全日本学校歯科保健優良校表彰に移り、文部科学大臣賞（6校・園）、日本学校歯科医会会長賞（8校）、日本歯科医師会会長賞（11校・園）および奨励賞（107校・園）が表彰され、来年度も多く为学校（園）から優れた活動報告が出てくることが期待された。



＜ポスター発表＞

東京都学校歯科医会からのポスター発表は「乳幼児から考える学校歯科保健活動」で多くの学会参加者により熱心に見学され、活発な議論がなされた。

＜シンポジウム・領域別研究協議会報告＞

口腔機能の健全育成を求めて専門家シンポジストの情報提供を得た。学校歯科保健活動における口腔機能育成の課題、教育的視点および学校歯科医としての取り組み方を考えさせられた。領域別研究協議会では歯・口の健康づくりを通じて「生き抜く力」を身につけるための歯科保健のあり方が課題とされた。各部会からの報告をもとに学校歯科関係者のより一層の連携を以って「歯・口の健康づくり」を推進することを誓う大会宣言案が日本学校歯科医会長沼善美専務理事から朗読され、川本 強会長に手渡された。

＜閉会式＞

本大会は両日とも快晴に恵まれ、全国から多数の参加者を迎えてプログラムは進行、無事に次期開催地・沖縄へと「学校歯科の鐘」は引き継がれた。

会員の先生方は全国の学校歯科関係者が一堂に会する絶好の機会に参加し、ぜひ交流と親睦を深められ、より一層の連携を図られてみてはいかがでしょうか。（柘植琢磨）



地区ニュース

平成29年度「練馬区よい歯・よい子のつどい」

練馬

平成29年6月24日（土）13時30分から練馬区役所に於いて平成29年度「練馬区よい歯・よい子のつどい」が開催されました。昨年度の3歳児歯科健康診断で歯と口の健康状態が良かったお子さんとご家族の方も同様なファミリーを表彰する「歯（ハ）ートファミリーコンクール」の表彰式と練馬区内の小学生から応募が有った図画、ポスターから優秀な作品を表彰する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」



の表彰式が行われました。

表彰式終了後練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」と記念写真の撮影が行われました。

（河奈文彦）

地区ニュース

平成28年度事業報告会

豊島

平成29年7月20日（木）18時より、豊島区新庁舎にて平成28年度の豊島区歯科医師会、学校歯科医会の事業報告会がありました。豊島区行政からは区長はじめ、副区長、教育長、保健所長、職員の方々、自民党、公明党、民主ネット、都民ファーストの区議の方々、豊島区歯科医師会、同学校歯科医会、同歯科医師連盟の総勢50数名の参加のもと、平成28年度歯科医師会、学校歯科医会の活動報告が行われました。学校歯科医会からは学術担当の仙田理事が報告しました。位相差顕微鏡を用いた歯みがき指導は東京都歯科衛生士会と連携して豊島区全区域の区立小学校で行って



り、児童・生徒に少なからず良い影響を及ぼしています。給食後の歯みがきも全区立小学校で実施されており、むし歯予防だけでなくインフルエンザ等の感染症予防にも繋がるとのことです。細かく丁寧な報告でしたので行政、区議の方々にも広く理解していただけたことと思いました。

（鈴木あい子）

地区ニュース

歯・口の健康に関する図画・ポスター審査会

板橋

平成29年7月26日（水）板橋区歯科医師会館にて、歯・口の健康に関する図画・ポスター審査会が開催されました。出品数は、小学校17校、中学校1校で、図画182点・ポスター184点でした。図画・ポスターの特賞作品は、東京都学校歯科医会のコンクールに板橋区代表として提出されました。また、特賞・板橋区歯科医師会会長賞・1～3位と佳作作品は、10月30日～11



月2日に板橋区役所内において、歯と口の健康ポスター展で展示されました。

（氷見育夫）

足立区民健康まつり

足立

平成29年9月16日（土）に足立区医療4団体主催・足立区後援で、『健康まつり』が行われました。例年ですと、区役所内の講堂・エントランスを使い相談コーナー及びポスター展示を行っています。今年度は、庁舎内改修工事のため、『マナビピア』にて開催されました。当会場は、場所も荒川と日光街道の交差する角で知名度が低く、またかなり手狭なので、ポスターの展示スペースもかなり限られました。例年ですと、各校6枚限定で、小学校69校中、半数弱から公募があるところ、今年度は、各校2枚限定となってしまう関係上、提出校も3分の1ぐらいとなってしまいました。例年に比べ子供達の見学者も少なかったよ



うに思います。今年度は校内選抜に漏れた児童もかなりあるのではと考えられたので、選抜漏れの子供達にも『褒めて育てる』意図を込めて学校歯科医会から賞状を出しました。加えて、足立区教育長定野様にもご賛同頂き『励ましの言葉』も応募者全員に配りました。（岡谷 進）

トピックス

平成29年度第1回参事会

平成29年6月29日（木）16時より歯科医師会館3階第1会議室でおこなわれました。鈴木副会長の開会、末高会長の挨拶に続いて、東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当の山田課長、日本学校歯科医会の川本会長、東京都歯科医師会の山崎会長、東京都歯科医師連盟の石島理事より来賓挨拶を頂きました。

恒例で末高会長が座長となり、澤田専務理事から1)新役員の職務分掌について、高橋文夫理事より2)学校歯科保健優良校表彰及び歯の作文募集、3)「図画・ポスターコンクール審査会および表彰式」「歯・口の健康啓発標語コンクール」について、箭本理事より4)東京都学校歯科保健功労者表彰について、澤田専務理事より5)平成29年度ブロック別研修会、学校保健研修会について、6)各種大会・研修会日程について報告がされました。その他)で高橋会計



担当理事より会費納入のお願い、澤田専務理事より日本学校歯科医会の職務分掌について、豊島の高草木先生、港区芝の木村先生、目黒の益山先生から地区の社団の公益化について伺い、澤田専務理事より冊子「乳幼児から考える学校歯科保健活動」についてのスライドを使つての説明があり長沼副会長の閉会で幕を閉じました。

トピックス

城東地区学校歯科医連合会役員連絡協議会

平成29年7月20日（木）19時より、西新井大師門前武蔵屋で、足立区学校歯科医会主管で開催されました。開会、挨拶、会計報告に続き、東京都学校歯科医会の高橋裕幸理事による「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の請求にあたって」の特別講演がありました。講演では実例を踏まえながら、独自に調べられた各地区の対応の違いが、大変興味深かったです。乾杯のあと、各地区近況、出席者報告があり、次回地区葛飾区学校歯科医会の飯塚会長の辞で名残惜し



く、閉会しました。

トピックス////

平成29年度健康づくりフォーラム

平成29年7月25日（火）10時から東京都庁第一本庁舎5階大会議場で行われました。開会、挨拶に続き日本小児科医会常任理事で吉村小児科院長である内海裕美先生による「スマホ社会の落とし穴～子どもの育ちに大切なこと～」が講演されました。子供が育つ4つの柱である、眠る、食べる、遊ぶ、愛されることへ影響を及ぼします「メディア漬けの問題」は、時間が奪われ、視聴内容から影響を受け、特に心身の成長、発達に大切な時間と体験が奪われるという視点が必要で、明らかに睡眠不足、運動不足、視力低下になるし、いつでもどこでもできるオンラインネットゲームの依存性は始めが基本無料であり、インスタントな達成感があり、役割分担があり、アイデンティティー、責任感、連帯感が得られること等、具体例をあげながらわかりやすく説明してくださいました。

特別発表は、東京女子医科大学がんセンター長の林和彦先生による「～今、学校で始まるがん教育～発達



段階に応じたがん教育の実践とその成果」について講演されました。先生はお父様が癌で亡くなったのをきっかけに医師を志し、食道がん専門の外科医として活躍され、さらに教員免許を取得されて、がん教育をなさっています。スライドに加え映像での講演を、立ってなさってください、がん教育の必要性がよく理解できました。先生は、メディアの必要性もお話されていて、早速次の日のNHKに出演されましたし、たくさんの本も出版されているので、是非ご一読をおすすめいたします。

トピックス////

第68回関東甲信越静学校保健大会 歯科職域部会

平成29年8月10日（木）16時15分から甲府市のベルクラシック甲府で本部会が開催されました。今回の講演は、東京歯科大学老年歯科補綴学講座准教授上田貴之先生の「高齢者の口腔機能低下の評価とその対応」でした。高齢者における口腔機能低下症とは、口腔不潔、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇機能低下、嚥下機能低下の7項目の検査を行い三項目以上が該当するものであることや、舌の筋力が低下すると、口唇閉鎖が不十分になり、食べこぼしの原因や嚥下圧の低下、構音障害なども引き起こすことなど、わかりやすく講演



してください、幼いころから人生の最終段階まで食を通じて人々を支援していくことが大切だということが学べました。

トピックス////

平成29年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」審査会および優秀作品の展示

平成29年9月28日（木）歯科医師会館3階第一会議室において標記審査会が開催されました。審査員長に国立大学法人東京学芸大学名誉教授 増田金吾先生が選出され、18名の審査員により審査が行われました。

各部門で優秀作品に選ばれた作品（1位～3位）を市ヶ谷駅プロムナード・ギャラリーに下記のとおり展示致します。

展示期間：平成29年11月9日（木）～
平成29年12月28日（木）



場 所：都営地下鉄市ヶ谷駅
プロムナード・ギャラリー

トピックス////

作文審査会

平成29年9月7日（木）15時より歯科医師会館2階会議室において、本会役員及び会誌・広報委員会委員によって作文審査会第一次審査が行われました。応募は小学生307名、中学生178名の計485名で、力作揃いの作品を厳正に審査いたしました。



トピックス////

平成29年度城北地区学校歯科医連絡協議会

平成29年9月24日（木）19時より練馬区歯科医師会館3階大会議室に於いて城北地区連絡協議会が開催されました。

司会を南 誠二練馬区学校歯科医会専務理事が務め、名古屋昌宏練馬区学校歯科医会副会長が開会の辞を述べた後、開催地区の草柳英二練馬区学校歯科医会会長が挨拶を行い、末高英世会長に来賓のご挨拶を頂きました。

続いて出席者の紹介が行われてから、練馬・豊島・北・滝野川・荒川・板橋の順に各地区の活動報告が為されました。今年は活動報告がスムーズに進んだため、更に質疑応答の時間を設け各地区の特徴をより深く知る事ができ、自地区でも取り入れたい事柄がたくさんありました。

次に協議に入り、議長を河奈文彦練馬区学校歯科医会副会長が務め、

- ① 板橋・練馬から提案された「給食後の歯みがきについて実施状況や推進事業、手洗い場の設計等について」
- ② 荒川から提案された「幼稚園医と保育園医の所管や報酬について」



- ③ 豊島から提案された「学校歯科医会の組織、歯科医師会との関係、都学歯・日学歯への入会と会費納入方法について」

を先ず提案地区に現状を聞いてから、各地区の意見・情報を頂き、大変有意義な協議が行われました。さらに北から10月12日（木）に行われるブロック別研修会について説明頂き、協議を終了しました。

続いて酒井克典理事より東京都学校歯科医会からのお知らせがあり、高草木 章豊島区学校歯科医会会長より次期開催について説明がなされました。

河奈文彦練馬区学校歯科医会副会長が閉会の辞を述べて午後9時前に連絡協議会は終了となりました。

トピックス////

平成29年度ブロック別学校歯科医研修会

東京都教育委員会、東京都学校保健会、東京都学校歯科医会の主催で開催されました。本年度は、第一回城南ブロックが9月7日（木）品川区立総合区民会館「きゅりあん」、第二回城北ブロックが10月12日（木）北区王子「北とぴあ」、第三回多摩ブロックが11月30日「国分寺シホール」で18時30分から行われ、日本歯科大学付属病院 小児歯科教授の内川喜盛先生が講演して下さいました。テーマは「乳幼児から考える学校歯科保健活動 ～0歳から20歳になるまで継続的な口腔保健支援を目指して～」で、先日、皆様に配布させていただいた東京都学校歯科医会・学術研究委

員会を中心に行われたアンケート調査をまとめた冊子「乳幼児から考える学校歯科保健活動」の詳しい内容が中心でした。現在、子供の歯の状態が予防をしっかりしてる子供と全くしていない子供と二極化が進んでいることや、保育所、幼稚園、認定こども園の違い、アンケート結果から歯科保健活動に歯科の専門職が関わることが求められていること、などをお話しして下さいました。また、アンケートでは多くの質問も寄せられ、家庭での歯みがきの注意事項（特に夜の仕上げ磨きを丁寧に、デンタルフロスを使う習慣を持ちましょう等）や洗口のみでは効果はないか？（歯面に付着したプラークは除去できない）などがあったそうで、我々も大変勉強になりました。



城南ブロック



城北ブロック

第52回 東京都学校歯科保健研究大会

期 日 平成30年 2 月 1 日 (木) 13:30受付開始

会 場 文京シビックホール 大ホール

日 程 14:00 開 会

表 彰 式 学校歯科保健優良校入選校・学校歯科保健功労者・
学校歯科医30年勤続会員

14:30 歯の作文 優秀作品入選者表彰・発表・講評

図画ポスターコンクール画評・入選者表彰

標語入選者表彰

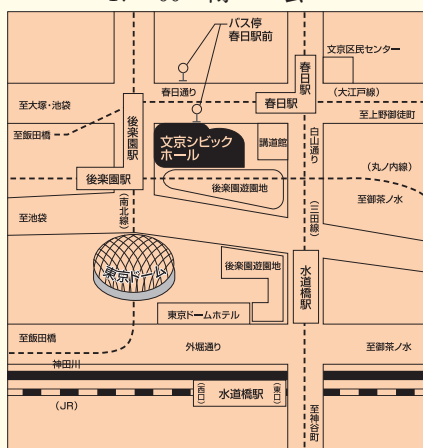
15:15 研究発表 平成28・29年度 東京都学校歯科保健推進校(園)支援事業

15:45 特別講演 「縄文人と現代人の咬合はなぜ違うのか？」

講師 国立科学博物館 人類研究部

3 万年前の航海 徹底再現プロジェクト代表 海部 陽介先生

17:00 閉 会



文京シビックホール

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21

TEL 03-5803-1100

【最寄り駅】

- 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅」 →4aまたは5番出口(徒歩1分)
- 東京メトロ南北線「後楽園駅」 →5番出口(徒歩1分)
- 都営地下鉄三田線「春日駅」(文京シビックセンター前)
- 都営地下鉄大江戸線「春日駅」(文京シビックセンター前)
→文京シビックセンター連絡通路(徒歩1分)
- JR中央・総武線「水道橋駅」 →東口(徒歩9分)

【訃 報】

一般社団法人東京都学校歯科医会名誉会員、西連寺愛憲先生におかれましては、平成29年9月26日(享年91歳)にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

先生は、昭和23年3月に日本大学専門部歯科を卒業され、27年に現住所に開業。昭和35年に小學校の学校歯科医になられ、55年の永きにわたり学校歯科保健活動に尽瘁されました。練馬区学校歯科医会の会長を22年、東京都学校歯科医会の会長を16年、日本学校歯科医会会長を10年、また日本学校保健会の副会長の要職等を歴任され、子供たちの健康と育成に全力を注ぎ、学校歯科の発展のため終始ご尽力されておりました。その功績は誠に顕著なものであり、平成18年には瑞宝小綬章の栄に浴されました。

西連寺先生は、高邁なる人格と人間味豊かにして包容力に富み、卓越した鋭敏なる時代感覚をもって私どもを厳しくも温かく導いてくださいました。先生の生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

一般社団法人東京都学校歯科医会

会長 末高 英世